

# 三宅島ふるさとだより

第 54 号 発行日令和 4 年 7 月 24 日 発行三宅島ふるさと再生ネットワーク  
発行所 〒173-0005 東京都板橋区仲宿 2-1 会長佐藤就之 電話 090-4922-0798

## 「会長時報」

### 伊豆諸島のコロナの感染者数(都発表、7月22日時点)

**三宅島は諸島に比較して、感染者は少なく済んでいるが要警戒!**

三宅島は、他の伊豆諸島に比較してコロナの感染者は比較的になく済んでいる(二面参照)。しかし、夏場のピークをむかえ徐々に拡大傾向にある。

三宅島は、高齢者も多く、医療機関も乏しく、必要に応じて緊急にヘリで都立広尾病院に輸送され入院などとなる。それだけに村行政は櫻田村長自ら村の有線放送で感染予防を呼び掛けているほど警戒を強めている。

噂話では、今までは三宅島から内地(東京都内及び地方など)に出向く人々が持ち込むケースをししばしば耳にするがすぐに対処され、都内病院などにかかり、島民同士の集団感染が発生したとの話は聞かない。しかし感染者が孤立しないように口止めが厳しくなされているので、正確な情報は発表されていない。

これからは、観光客が多くなるので注意がいる。

観光客の皆さんも十分に予防対策をとりなが、三宅島の観光を大いに楽しんで`もらいたいと思っている。

新型コロナウイルスの国内感染者は7月23日の午後8時半現在、新たに20万975人が確認され20万人を超えたのは初めて。「第7波」の急拡大で、72人の死亡が確認された。(朝日新聞24日)

今度は、主に中央アフリカと西アフリカの熱帯雨林地域から感染拡大、欧米や米国で広がっている「サル痘」。発熱、発疹などで体液、飛沫などで感染する。致死率は3~6%男性に多い。

コロナ禍とサル痘を合わせ考えると、

- ① 球温暖化による各種ウイルスの活性化
- ② 世界の各国・各地で野生動物エリヤに開発侵入し接触したため、新たなウイルス・病原菌の持ち込み。特に発展途上国(中国地方の蝙蝠、アフリカの猿等)
- ③ 経済の国際化(ヒト・モノ)のために、急速に地球規模の感染拡大となる。
- ④ 経済生活苦、差別、戦争などによる流民、避難民、移住など国際的な流動化で、ますます新たな感染症発生、過密化、不衛生環境ができ、人々に新たな感染症など困難を引き起こす可能性は今後とも否定できないだろう。

(二面に続く)

# 伊豆諸島のコロナ感染者数

(都発表、22日時点)

大島町 311 (+5)

利島村 14

新島村 76 (+5)

神津島村 159 (+3)

三宅村 41 (+3)

御蔵島村 16 (+1)

八丈町 203 (+3)

青ヶ島村 0

小笠原村 174 (+2)

(以上 朝日新聞 2022年7月24

日(日) 東京21ページ)

カッコ内は前日との比較